

大分教育事務所訪問 48

大分市立松岡小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「豊かな心と自ら学び、考える力をもち、たくましく生きる子どもの育成」を実現するために、めざす子ども像を「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」としています。そして、3つの重点目標を資質・能力の3本柱を意識して定め、心の教育、生徒指導、学力向上、体力向上の4部会を中心に組織的に取り組んでいます。また、重点的な取組である、学校経営計画にある取組項目についても担当部を決め、それぞれが進行管理を行っています。

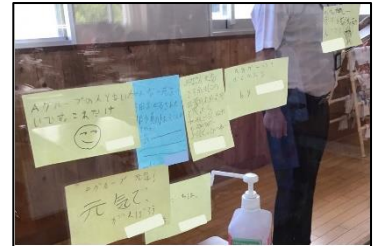
児童数965人、教職員55人の大規模校のベクトルを揃えていくために、今後は、協議の際に確認した「創造力」等の学校として育成を目指す（教科横断的な）資質・能力を共有することから初めてみてはいかがでしょうか。また、学校経営計画表の取組項目が、どの「資質・能力（3本柱）」を育てるのか（目的）を明確にすることで、教職員や保護者・地域の方との共通理解が推進されると思われました。このように、教職員や学校関係者の上位目標の理解がすすむと、方法（手段）は担当者に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まると思われました。

授業から学ぶ

テンポのある流れや、多くの子ども達に活躍の場を与えていたので、子ども達が生き生きと活動する場面を見ることができました。特に、3年生外国語活動では、子どもが前に立ち問題を出しているので一層子ども達が参加していました。

また、提出された指導案の学習活動には、児童の学習活動や予測される反応が具体的に明記され、それぞれの教師が余裕をもって授業を行っているように思えました。

今後は、指導案にある「振り返り」には、子どもがどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」とすることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような、日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思われました。



NO.232 2021年9月 松岡小学校

やさしい子

分散登校。明日来る友達へのメッセージ。笑うかな？喜ぶかな？そして、明後日はどんな返事がくるかな？



NO.232 2021年9月 松岡小学校

たくましい子

自分の思いを聴いてくれる友達がいるから、失敗を恐れずに挑戦できる。



NO.234 2021年9月 松岡小学校

かしこい子

タブレットは、わからないことを調べるため、自分の考えをまとめるため、友達と共に学び合うための道具です。



NO.235 2021年9月 松岡小学校

創造する

自分で考えたことを出し合い、先生や友達と学び合うことで、新たな考えが生まれる。